

数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(リテラシーレベル) 申請様式

- ① 学校名
- ② 大学等の設置者
- ③ 設置形態
- ④ 所在地
- ⑤ 申請するプログラム又は授業科目名称
- ⑥ プログラムの開設年度
- ⑦ 教員数 (常勤) 人 (非常勤) 人
- ⑧ プログラムの授業を教えている教員数 人
- ⑨ 全学部・学科の入学定員 人
- ⑩ 全学部・学科の学生数(学年別) 総数 人
- | | | | |
|-----|------------------------------------|-----|------------------------------------|
| 1年次 | <input type="text" value="546"/> 人 | 2年次 | <input type="text" value="534"/> 人 |
| 3年次 | <input type="text" value="541"/> 人 | 4年次 | <input type="text" value="568"/> 人 |
| 5年次 | <input type="text" value=""/> 人 | 6年次 | <input type="text" value=""/> 人 |
- ⑪ プログラムの運営責任者
(責任者名) (役職名)
- ⑫ プログラムを改善・進化させるための体制(委員会・組織等)

(責任者名) (役職名)
- ⑬ プログラムの自己点検・評価を行う体制(委員会・組織等)

(責任者名) (役職名)
- ⑭ 申請する認定プログラム

連絡先

所属部署名	教育学習基盤部	担当者名	宇佐美 諭
E-mail	gakushin@kio.ac.jp	電話番号	0745-54-1601

学校名：畿央大学

プログラムを構成する授業科目について

① 教育プログラムの修了要件

学部・学科によって、修了要件は相違しない

② 具体的な修了要件

1年次前期配当全学共通卒業必修科目「情報処理演習Ⅰ」1単位、および1年次後期配当全学共通卒業必修科目「情報処理演習Ⅱ」1単位、合計2単位を取得すること。

③ 授業科目名称

授業科目名称		授業科目名称	
1	情報処理演習Ⅰ	26	
2	情報処理演習Ⅱ	27	
3		28	
4		29	
5		30	
6		31	
7		32	
8		33	
9		34	
10		35	
11		36	
12		37	
13		38	
14		39	
15		40	
16		41	
17		42	
18		43	
19		44	
20		45	
21		46	
22		47	
23		48	
24		49	
25		50	

学校名：畿央大学

プログラムの履修者数等の実績について

学部・学科名称	収容定員	令和2年度		令和元年度		平成30年度		平成29年度		平成28年度		平成27年度		履修者数合計	履修率
		履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数		
健康科学部(保健)	1240	347	320	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	347	28%
教育学部 現代教育学科(教育)	780	197	189	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	197	25%
														0	#DIV/0!
														0	#DIV/0!
														0	#DIV/0!
														0	#DIV/0!
														0	#DIV/0!
														0	#DIV/0!
														0	#DIV/0!
														0	#DIV/0!
														0	#DIV/0!
														0	#DIV/0!
														0	#DIV/0!
														0	#DIV/0!
														0	#DIV/0!
														0	#DIV/0!
														0	#DIV/0!
														0	#DIV/0!
														0	#DIV/0!
														0	#DIV/0!
														0	#DIV/0!
合計	2020	544	509	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	544	27%

学校名：畿央大学

プログラムの授業内容・概要

① プログラムを構成する授業の内容・概要(数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)モデルカリキュラムの「導入」、「基礎」、「心得」に相当)

授業に含まれている内容・要素	授業概要	
<p>(1)現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている</p> <p>※モデルカリキュラム導入1-1、導入1-6が該当</p>	<p>ビッグデータ、「モノのインターネット」(IoT)、人工知能(AI)による社会変革の時代における情報通信技術(ICT)利用の「仕組み」とそれに関係する「専門用語」を能動的に学習することにより、ICT利用の背景にあるモデルを理解しICTを活用する問題解決能力を育むことを目的とする。具体的には、検索により解決案を見つけ、判断できるような問題解決パターンを会得することを目標とする。</p> <p>大学での学習に必要なソフトウェアやシステムの的確な操作を最初の段階で学習する。操作対象となるデータやファイル、処理を行うアプリケーションソフトウェアや情報システムを、科目内容として順次取り上げ、対象や処理の仕組みについて発見的に理解を深める。</p>	
	授業科目名称	講義テーマ
	情報処理演習 I	畿央大学の情報環境と学習支援システムの使い方、情報セキュリティ(1)
	情報処理演習 I	インターネットとクラウドの利用(5)
	情報処理演習 I	クラウドとPC上のファイルの同期、テキストファイルと表現(9)
	情報処理演習 I	インターネットとフェイク情報、SNS利用リスク(13)

授業概要		
<p>(2)「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの</p> <p>※モデルカリキュラム導入1-2、導入1-3が該当</p>	<p><P,K,N> データの数理的分析方法とプログラミングによる効率的な処理方法を会得し、人工知能(AI)利用による判断特性を理解する。その際には、AIの「学習」の型と、AIが社会の多様なデータを利活用していることを学ぶ。Microsoft Excelを用いて様々な種類のデータ処理(集計、クロス集計、統計処理、グラフ化も含む)を会得し、日常生活や社会の課題を解決するための有用なツールであることを学ぶ。</p> <p><D,E> 上述の内容に加え、AIの基となる統計の概念と手法を習得する。対象データは日常生活で用いる製品の売り上げ、学生の成績などである。さらに、簡便な未来予測のAIを作成する。具体的にはExcelの回帰機能を用いて過去のデータと天気予報から飲食店の未来の売り上げを予測するAIを作成する。</p> <p><学科識別記号> P:理学療法、K:看護医療、N:健康栄養、D:人間環境デザイン、E:現代教育(以下同)</p>	
	授業科目名称	講義テーマ
	情報処理演習Ⅱ(P,K,N,D,E)	AIとその「学習」の特徴(3)
	情報処理演習Ⅱ(P,K,N)	統計の基礎①平均・中央値・正規分布・分散・標準偏差・偏差値(4)
	情報処理演習Ⅱ(P,K,N)	統計の基礎②データ分析のためのExcel集計機能(5)
	情報処理演習Ⅱ(P,K,N)	統計の基礎③データ分析のためのExcelグラフ機能(6)
	情報処理演習Ⅱ(P,K,N)	仮説検定・帰無仮説・対立仮説・有意水準・p値・尺度(7)
	情報処理演習Ⅱ(P,K,N)	t検定①対応あり(8) / t検定②対応なし、F検定(9)
	情報処理演習Ⅱ(P,K,N)	カイ2乗検定関連(分割表、Fisher's exact test, McNemar test)(10)
	情報処理演習Ⅱ(P,K,N)	ノンパラメトリック検定関連①(Wilcoxon signed-rank test, Mann-Whitney U test)(11)
	情報処理演習Ⅱ(P,K,N)	ノンパラメトリック検定関連②その仕組みを理解する(12) / 相関係数(Pearson, Spearman)(13)
	情報処理演習Ⅱ(D,E)	統計の基礎①平均値・分散・標準偏差・偏差値(4)
	情報処理演習Ⅱ(D,E)	統計の基礎②分布・類似度(5) / 統計の基礎③相関(6)
	情報処理演習Ⅱ(D,E)	統計の基礎④回帰(7) / 統計の基礎⑤これまでの振り返り(8)
	情報処理演習Ⅱ(D,E)	統計ソフトの基礎①Excelの集計機能の復習(9)
	情報処理演習Ⅱ(D,E)	統計ソフトの基礎②Excelのグラフ機能の復習(10)
	情報処理演習Ⅱ(D,E)	統計ソフトの基礎③Excelの機能の追加説明(11)
	情報処理演習Ⅱ(D,E)	統計ソフトの基礎④Excelの振り返り(12)
	情報処理演習Ⅱ(D,E)	総合演習①統計用AIの作成(13) / 総合演習②統計用AIの作成(14)

授業概要		
<p>(3) 様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの</p> <p>※モデルカリキュラム導入1-4、導入1-5が該当</p>	<p><P,K,N> 様々な現場で利活用されているデータの多くは、正規分布に従っていることを理解し、標本から母集団の代表値を推測する場合に利用できることを学ぶ。具体的にはその分布を利用することでグループ間のある平均値のちがいを判定できることを理解する。また、パラメトリック検定、ノンパラメトリック検定、相関係数についての演習を行う。</p> <p><D,E> D,E学科では、データの類似、相関そして回帰に重点をおいて、AIの基となる統計の概念と計算手法を、説明と手計算の課題により習得させる。対象データは、日常生活で用いる製品の売り上げ、学生の成績などである。そして、Microsoft Excelの利用方法を上記の種類データを用いた演習で学ぶ。さらに、簡便な未来予測のAIを作成する。具体的には、Excelの回帰機能を用いて、過去のデータと天気予報を基にして飲食店の未来の売り上げを予測するAIを作成する。</p>	
	授業科目名称	講義テーマ
	情報処理演習Ⅱ(P,K,N,D,E)	AIとその「学習」の特徴(3)
	情報処理演習Ⅱ(P,K,N)	統計の基礎①平均・中央値・正規分布・分散・標準偏差・偏差値(4)
	情報処理演習Ⅱ(P,K,N)	統計の基礎②データ分析のためのExcel集計機能(5)
	情報処理演習Ⅱ(P,K,N)	統計の基礎③データ分析のためのExcelグラフ機能(6)
	情報処理演習Ⅱ(P,K,N)	仮説検定・帰無仮説・対立仮説・有意水準・p値・尺度(7)
	情報処理演習Ⅱ(P,K,N)	t検定①対応あり(8) / t検定②対応なし、F検定(9)
	情報処理演習Ⅱ(P,K,N)	カイ2乗検定関連(分割表、Fisher's exact test, McNemar test)(10)
	情報処理演習Ⅱ(P,K,N)	ノンパラメトリック検定関連①(Wilcoxon signed-rank test, Mann-Whitney U test)(11)
	情報処理演習Ⅱ(P,K,N)	ノンパラメトリック検定関連②その仕組みを理解する(12) / 相関係数(Pearson, Spearman)(13)
	情報処理演習Ⅱ(D,E)	統計の基礎①平均値・分散・標準偏差・偏差値(4)
	情報処理演習Ⅱ(D,E)	統計の基礎②分布・類似度(5) / 統計の基礎③相関(6)
	情報処理演習Ⅱ(D,E)	統計の基礎④回帰(7) / 統計の基礎⑤これまでの振り返り(8)
	情報処理演習Ⅱ(D,E)	統計ソフトの基礎①Excelの集計機能の復習(9)
	情報処理演習Ⅱ(D,E)	統計ソフトの基礎②Excelのグラフ機能の復習(10)
	情報処理演習Ⅱ(D,E)	統計ソフトの基礎③Excelの機能の追加説明(11)
	情報処理演習Ⅱ(D,E)	統計ソフトの基礎④Excelの振り返り(12)
	情報処理演習Ⅱ(D,E)	総合演習①統計用AIの作成(13) / 総合演習②統計用AIの作成(14)

<p>(4) 活用に当たっての様々な留意事項 (ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする</p> <p>※モデルカリキュラム心得3-1、心得3-2が該当</p>	授業概要	
	<p>パソコンにログインするためのローカルアカウントと、大学の各種情報環境にアクセスための組織アカウントのちがいを正確に理解し、アカウントの管理の重要性について学ぶ。 「情報倫理ハンドブック」を別途配布して、自分の身は自分で守るために「個人情報の漏洩」、「ウィルス対策ソフトの必要性」、「OSの定期的なアップデートの必要性」、「SNSの落とし穴」、「実際の事例」についても学ぶ。</p>	
	授業科目名称	講義テーマ
	情報処理演習 I	畿央大学の情報環境と学習支援システムの使い方、情報セキュリティ(1)
	情報処理演習 I	インターネットとクラウドの利用(5)
	情報処理演習 I	クラウドとPC上のファイルの同期、テキストファイルと表現(9)
	情報処理演習 I	インターネットとフェイク情報、SNS利用リスク(13)

授業概要		
<p>(5)実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの</p> <p>※モデルカリキュラム基礎2-1、基礎2-2、基礎2-3が該当</p>	<p><P,K,N> Microsoft Excelを用いて、業務用データ・健康科学分野のデータを実際に扱って、各種指標の計算・ソート・判定・分類などを演習する。さらに健康科学分野の具体的なデータを用いて、データの性質・尺度などをもとに統計ソフトで仮説検定を行う。データ構造を読み、適切な統計手法を選択でき、その結果を解釈できるようになる。</p> <p><D,E> D,E学科では、Excelの利用方法を、学生が身近に感じるもの、例えば、日常生活で用いる製品の売り上げ、学生の成績などを用いた演習で学ぶ。その際には、解析結果をグラフを用いて説明する手法も習得する。さらに、簡便な未来予測のAIを作成する。具体的には、Excelの回帰機能を用いて、過去のデータと天気予報を基にして飲食店の未来の売り上げを予測するAIを作成する。</p>	
	授業科目名称	講義テーマ
	情報処理演習Ⅱ(P,K,N)	統計の基礎①平均・中央値・正規分布・分散・標準偏差・偏差値(4)
	情報処理演習Ⅱ(P,K,N)	統計の基礎②データ分析のためのExcel集計機能(5)
	情報処理演習Ⅱ(P,K,N)	統計の基礎③データ分析のためのExcelグラフ機能(6)
	情報処理演習Ⅱ(P,K,N)	仮説検定・帰無仮説・対立仮説・有意水準・p値・尺度(7)
	情報処理演習Ⅱ(P,K,N)	t検定①対応あり(8) / t検定②対応なし、F検定(9)
	情報処理演習Ⅱ(P,K,N)	カイ2乗検定関連(分割表、Fisher's exact test, McNemar test)(10)
	情報処理演習Ⅱ(P,K,N)	ノンパラメトリック検定関連①(Wilcoxon signed-rank test, Mann-Whitney U test)(11)
	情報処理演習Ⅱ(P,K,N)	ノンパラメトリック検定関連②その仕組みを理解する(12) / 相関係数(Pearson, Spearman)(13)
	情報処理演習Ⅱ(D,E)	統計ソフトの基礎①Excelの集計機能の復習(9)
	情報処理演習Ⅱ(D,E)	統計ソフトの基礎②Excelのグラフ機能の復習(10)
	情報処理演習Ⅱ(D,E)	統計ソフトの基礎③Excelの機能の追加説明(11)
	情報処理演習Ⅱ(D,E)	統計ソフトの基礎④Excelの振り返り(12)
	情報処理演習Ⅱ(D,E)	総合演習①統計用AIの作成(13) / 総合演習②統計用AIの作成(14)

② プログラムを構成する授業の内容・概要(数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)モデルカリキュラムの「選択」に相当)

授業に含まれている内容・要素	授業科目名称
統計及び数理基礎	情報処理演習Ⅱ
アルゴリズム基礎	情報処理演習Ⅱ
データ構造とプログラミング基礎	情報処理演習Ⅱ
時系列データ解析	情報処理演習Ⅱ
テキスト解析	情報処理演習Ⅰ
画像解析	
データハンドリング	情報処理演習Ⅰ、情報処理演習Ⅱ
データ活用実践(教師あり学習)	情報処理演習Ⅱ
その他	

③ プログラムの授業内容等を公表しているアドレス <https://www.kio.ac.jp/wp-content/uploads/2021/07/MDASHgaivou.pdf>

④ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

本プログラム修了時に、学生は、情報化が進む社会がセキュリティ管理を前提としたデータサイエンスおよびAIの利活用により支えられていることを理解している。また、そのスキルや考え方が社会人として必須であることも理解している。さらに、学生は統計学の基礎およびAIの原理を理解した上でAI搭載の統計用ソフトを使用し、企業の売り上げから天気予報、学生の成績に至るまで、各種のデータを解析、活用する能力を習得している。以上の自覚と能力を持って、1年生時の本プログラム修了から大学卒業までの数年を送る中で、学業、部活動、アルバイト、インターン、家庭生活等の質を高め、その能力に磨きをかけると共に社会への理解を深めた後に、社会人となる。

学校名：畿央大学

教育の質・履修者数を向上させるための体制・計画について

① プログラムを改善・進化させるための体制を定める規則名称

教育推進室規程

② 体制の目的

『教育推進室は、本学学長(以下「学長」という。)の統括の下に、建学の精神に則り、大学および大学院の教育課程編成方針の検討、入学前から卒業または修了後に亘る全教育過程を通じた組織的かつ継続的な教育内容および教育方法の改善を行ない、本学の教育の発展に寄与することを目的とする。』

③ 具体的な構成員

(令和2年度 教育推進室会議 構成員)

学長 冬木正彦(教育推進室室長)
 教育学部現代教育学科長 教授 島恒生(教育推進室室長補佐)
 教育学部現代教育学科 准教授 宮村裕子(教育推進室室長補佐)
 健康科学部長 大学院健康科学研究科長 教授 植田政嗣
 教育学部長 大学院教育学研究科長 教授 前平泰志
 健康科学部理学療法学科長 教授 庄本康治
 健康科学部看護医療学科長 教授 河野由美
 健康科学部健康栄養学科長 教授 栢野新市
 健康科学部人間環境デザイン学科長 教授 三井田康記
 大学事務局長 水上亨男
 大学事務局 教育推進部長 小野巧
 大学事務局 教育推進部 課長 宇佐美諭
 大学事務局 教育推進部 課長 山本泰

④ 履修者数・履修率の向上に向けた計画

1年次前期配当「情報処理演習Ⅰ」、1年次後期配当「情報処理演習Ⅱ」は、ともに本学の教養教育の核をなす科目であり、全学的な卒業必修科目に位置付けられているため、すべての学生が履修する。当該年次に単位修得できなかった一部の学生については、翌年度以降に再履修する。令和5年度終了時点で、在学生の全員が本プログラムを履修している見通しとなる。

令和3年度 令和3年度入学生515名程度全員が履修(履修率50%)
 令和4年度 令和4年度入学生515名程度全員が履修(履修率75%)
 令和5年度 令和5年度入学生515名程度全員が履修(履修率100%)
 令和6年度 令和6年度入学生515名程度全員が履修(履修率100%)
 令和7年度 令和7年度入学生515名程度全員が履修(履修率100%)

⑤ 学部・学科に関係なく希望する学生全員が受講可能となるような必要な体制・取組等

「情報処理演習Ⅰ」「情報処理演習Ⅱ」は、ともに本学の教養教育の核をなす科目であり、全学的な卒業必修科目に位置付けられているため、すべての学生が履修する。

⑥ できる限り多くの学生が履修できるような具体的な周知方法・取組

「情報処理演習Ⅰ」「情報処理演習Ⅱ」は、ともに本学の教養教育の核をなす科目であり、全学的な卒業必修科目に位置付けられているため、すべての学生が履修する。履修登録時のガイダンスにおいて、他の卒業必修科目と併せ履修が必須であることが周知される。

⑦ できる限り多くの学生が履修・修得できるようなサポート体制

情報機器の操作に関する質問について、教育学習基盤センターの職員がサポートする体制が整っている。また、学生支援センターの教務系業務担当の職員が、本学独自のLMS”OpenCEAS”の科目担当者権限を共有し、教務事項のサポートを行っている。

⑧ 授業時間内外で学習指導、質問を受け付ける具体的な仕組み

本学独自のLMS”OpenCEAS”により授業資料の提供、課題のアップロード、学生からの質問とそれに対する教員からの回答や学習指導を随時行える環境を整えている。

学校名：畿央大学

自己点検・評価について

① 自己点検・評価体制における意見等

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学内からの視点	
プログラムの履修・修得状況	<p>「情報処理演習Ⅰ」「情報処理演習Ⅱ」は、ともに本学の教養教育の核をなす科目であり、全学的な卒業必修科目に位置付けられている。したがって、すべての学生が履修し、単位を修得した上で卒業する。また、各学生のプログラムの履修・取得状況は担任が学生総合支援システム(KiTss)により確認できる。学科の担当教員は授業支援システム“OpenCEAS”の活用により、受講者毎の講義演習進捗状況や課題への回答状況を把握している。1回生必修のプログラムであるため、履修・取得状況の情報は各学科会議等で共有し、再履修が必要な学生には指導を行っている。</p>
学修成果	<p>本科目における学びの題材として、各学科にとって身近であり専門性に結びつく事例を取り上げている。学外実習を含む各学科の専門科目での学びにおいても本科目の成果が用いられている。卒業論文、卒業研究の際には、情報機器の活用、特に統計学的な知識が多用される。また就職やキャリアプラン検討に際しての情報収集やプレゼンテーションなど、「情報処理演習」での学びは多面的で持続的な成果に直結している。各学期終了後には他の科目もあわせ学生の単位取得状況や成績の分布状況を確認し、評価・改善につなげている。</p>

<p>学生アンケート等を通じた 学生の内容の理解度</p>	<p>受講生対象に実施したアンケートより、「天気予報やAIなど身近なシステムの成り立ちを学びました」「大学生になったら数学などとは無縁だろうと思っていたが、将来の夢のために必要な知識であることが分かった」「さまざまな問題を解決するために、コンピュータや情報通信ネットワークを活用することが現代社会において求められていると感じた」などのコメントが得られた。単に表層的な知識やスキルの獲得ではなく、その背景への理解、問題解決能力の育成ができたと考える。</p>
<p>学生アンケート等を通じた 後輩等他の学生への推奨度</p>	<p>本科目は必修科目のため、履修する上での先輩から後輩、他学生への推奨、という場面は特段発生しないが、ゼミ活動など上回生と下級生が学びを共にする状況において、本科目で身につけた知識やスキル、背景への考察といった学びの諸相の深さを相互に共有し、刺激しあう場面があると考ええる。</p>
<p>全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況</p>	<p>本科目は全学的な卒業必修科目に位置付けられている。卒業までの履修率は100%となる。</p>

学外からの視点	
教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価	<p>就職活動において、統計スキル(推定・検定・相関・回帰・多変量解析など)を有していることへの高い評価を得た事例がある。また、MOSやITパスポートなど、資格取得への積極的な姿勢につながる事例もある。就職指導を担当する事務局部門と連携し、本教育プログラムを修了した卒業生の進路先や活躍状況を把握し、在学生向けキャリアガイダンスに卒業生を招聘した際には、活躍状況や企業等の評価に関する情報を得ている。</p>
産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	<p>臨床、教育など実社会の現場における実習や、自治体と連携したまちづくりやメニュー開発等の活動に際し、学生は本教育プログラムの果実を有効活用している。現場での指導者や担当者からの意見や評価は、自身の知識の定着や応用力を確認することに役立ち、自身の課題を克服するための指標となり、教育プログラムの改善にも活かされている。現行の授業内容は令和2年度よりあらためられたものであるが、学生全員へのPC貸与、本科目を必修とすることなど、全学的な取組は従前より行われてきた。マイクロソフト社のアジア担当副社長が本学を訪問した際、「教育業界におけるLighthouse(灯台)のような存在である」との意見を得ている。</p>

<p>数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること</p>	<p>本科目においては、「自ら調べ、考える」ことを重視している。学生にとって身近な事例を取り上げ、学ぶモチベーションを高め、自らの力で学びを進めるノウハウを培うことも目的としている。授業アンケートにおいて、学生からは「将来身になることを学んだのでとても良かった」「授業で実例として取り上げられた売上予測の方法がアルバイト先で役にたった」などのコメントが寄せられている。</p>
<p>内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること</p>	<p>個々、各回の授業については、本学独自の授業支援システム”OpenCEAS”の質疑応答機能を利用し、適宜学生から寄せられる質問、コメントを次回への授業に反映する環境を整えている。科目全体としては授業アンケートなどをもとに教育推進室での振り返りを経て、よりよい授業方法や適正なクラスサイズを検討することとしている。</p>

② 自己点検・評価体制における意見等の公表の有無

有

※公表している場合のアドレス

<https://www.kio.ac.jp/wp-content/uploads/2021/07/MDASHhyouka.pdf>

学校名： 畿央大学

数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(リテラシーレベル)プラス 申請書

① 授業内容

本学では開学当初から「情報処理演習Ⅰ」「情報処理演習Ⅱ」各1単位を卒業必修科目とし、入学後の学修の基礎・基盤を作ってきた。「情報処理演習Ⅰ」では問題解決パターンの会得、能動的学習、情報セキュリティ、ICT利用の背景にあるモデルの理解、対象や処理の仕組みの理解を、「情報処理演習Ⅱ」では統計学の習得、データサイエンスおよびAI活用論の理解と演習を主に扱っている。

受講に際して、学生には自ら「調べ、考える」ことを課している。担当教員は安易に全てを教えず、学生自らが「調べ、考える」ためのサポートを行うことを基本的なスタンスとしている。これは本科目における学修のみならず、学びに向かう姿勢そのものも涵養する狙いがあり、早期にそれを身に着けることが専門分野での学びも含めた学修全体へのモチベーション維持・向上につながると考えるためである。

授業では、できるだけ身近な事例、あるいは学生の進路に直結する事例を取り上げるよう配慮している。その結果、学生は専門分野の学びへ入った後も本科目で習得したスキルを生かすことが可能となる。また、そのスキルが自身の将来にどう生かされるのかを考えることで本科目における学びの意義を理解する。担当教員が行った受講者アンケートによれば、ある現代教育学科1年次生は、本科目で学んだ「TREND」や「相関」の知識を子どもが抱える問題や環境要因を知る方法として活用できる可能性を認識し、これが「今後の教育者に求められる『新たな専門性』と感じた」と述べている。

本科目の学びを終えた学生のうち、特に強い興味・関心を抱いた者の中には、ゼミや課外活動の一環として近隣の小学校等から依頼を受け、児童にプログラミングを教えに出向いたり、全国規模の大会に出場して優秀な成績を収める者もいる。また、自身のスキルをさらに確かなものとするためMOS検定に臨むなど、学びを深めていくケースも少なくない。

② 学生への学習支援

本学では2014年度から全学生にノートPCを貸与し、学修に活用させている。貸与するノートPCは「学校法人冬木学園情報化推進委員会」で機種や仕様を検討し、学生がもっとも活用しやすいと思われるものを毎年選定している。昨年度のコロナ禍における緊急的なオンライン授業への移行に際して、多くの大学では受講媒体の不備・不足に悩み、戸惑う事象が発生したが、本学ではこの施策が奏功し、オンライン授業へのスムーズな移行を実現しえた。

媒体だけでなく、日々の学修に活用するツールの整備も行ってきた。全学的に活用しているLMS「OpenCEAS」は授業資料の提示のみならず質疑応答、レポートの提出、アンケート・テスト作成などの機能を有している。教務事務システム「Campus Square」とのデータ連携により、カリキュラムや履修の状況がつねに更新される仕組みを構築しており、教員、学生双方にとってストレスの少ない授業運営を可能にしている。また、同じく2014年度から「Microsoft (Office) 365」を全学生に利用させ、クラウドサービスの基礎的知識の獲得を目指してきた。

学生には、これらの使用方法を「情報処理演習Ⅰ」で基礎から教授している。事務局に設けられた「教育学習基盤センター」では、教員の授業支援と併せて学生のサポート対応も行っている。同センターのセンター長は「情報処理演習Ⅰ」「情報処理演習Ⅱ」の運営責任者でもあることから、センターにおける学生対応は本科目の基本的なスタンス(自ら学び、考える力を身に着けさせる)ともリンクしており、教職一体となって一貫した情報教育を全学生に提供する体制を構築している。

今年度から新たな組織として「次世代教育センター」が立ち上がるが、センター長を含めたスタッフの一部は「教育学習基盤センター」と重複しており、従前から培われたノウハウの継承を可能とする計画である。

③ その他の取組(地域連携、産業界との連携、海外の大学等との連携等)

本科目でさらに強い興味・関心を抱いた者は、ゼミや正課外活動で近隣の小学校から依頼を受けてプログラミングを教えに行くなど地域に結び付いた活動を行っている。本科目の運営責任者が顧問を務めるクラブ「KSCC(畿央大学サイエンスコミュニケーションサークル)」で積極的な課外活動を展開する者もいる。東京で開催されたイベント「サイエンスアゴラ」における受賞歴もある。

学科独自の取り組み事例では、自治体や産学連携プロジェクトによるまちづくりやコミュニティ計画の提案、アパレルデザインの提案、サービスエリアでの提供メニューコンペティションなどがあり、提案内容やプレゼンテーションに本科目で習得したスキルが生かされている。それに対する外部からの意見・評価を自身の課題克服の指標とすることで、学生は応用力を身に付けていく。

教員側も本科目を中心とする本学の情報教育をブラッシュアップする努力を継続的に行っている。2020年11月に開催された「情報処理学会CLE(Collaboration and Learning Environment)研究会」では教育学習基盤センター長(本科目の運営責任者)が「畿央大学でのOpenCEASを利用した全科目非対面授業実施から見えてきたこと～学生・教職員アンケート結果分析と授業以外へのLMSの活用～」と題する報告発表を行った。

報告では、2020年度のコロナ禍を受けて本学が実施した様々な取り組み(LMS「OpenCEAS」を本来の授業支援という目的を超えてネット環境の整備支援や健康管理チェックなどにも活用した事例)を紹介し、オンライン授業のみにとどまらない教育学習支援システムの幅広い運用の先進的事例として注目を得られたが、こうした取り組みに学生がスムーズに対応できたのも、本科目において培われた情報スキルや「自ら調べ、考える」学びの姿勢が奏功した結果であると考えている。

科目名	②授業形態	配当回生(前・後期)	⑤単位	⑥講師名
情報処理演習Ⅰ(全学科対象)	講義・演習	1前	1.0	福森 貢
科目内容				

①〔授業の到達目標〕

ビッグデータ、「モノのインターネット」(IoT)、人工知能(AI)による社会変革の時代における情報通信技術(ICT)利用の「仕組み」とそれに関する「専門用語」を能動的に学習することにより、ICT利用の背景にあるモデルを理解しICTを活用する問題解決能力を育むことを目的とする。具体的には、検索により解決案を見つけ、判断できるような問題解決パターンを会得することを目標とする。

③〔授業科目内容の概要〕

大学での学習に必要なソフトウェアやシステムの的確な操作を最初の段階で学習する。操作対象となるデータやファイル、処理を行うアプリケーションソフトウェアや情報システムを、科目内容として順次取り上げ、対象や処理の仕組みについて発見的に理解を深める。

④〔授業計画〕

第1回 畿央大学の情報環境と学習支援システムの使い方、情報セキュリティ

第2回 PCの設定

第3回 ファイル・フォルダとその利用

第4回 ファイル体系、PC内の保存場所

第5回 インターネットとクラウドの利用

第6回 個人データのバックアップ

第7回 アナログとデジタル、文字コード

第8回 データとデジタル表現

第9回 クラウドとPC上のファイルの同期、テキストファイルと表現

第10回 データの伝送

第11回 OSとアプリ、ハードウェアの関係

第12回 コンピュータの基本処理、データの入力・処理・出力

第13回 インターネットとフェイク情報、SNS利用リスク

第14回 データ通信とWebシステム

第15回 プレゼンテーション:「知の個人アーカイブ活用の工夫や利用計画」

〔授業外学修の指示〕

授業に関する事前学習および事後学習の内容を毎回指示する。これらの学習は、全員に貸与する「貸与PC」を用いて行い、学習記録は指定するファイル領域に保存すること。

全員に貸与するPCを用いて授業時間外にどこでも学習できることを前提として、授業を進める。授業時間に取り上げる内容は事前に知らせるので、事前に予習して授業に臨むこと。

〔使用教材〕

教科書: 日経パソコン EDU 2020 年度版(日経BP社)(最初の授業までに必ず購入しておくこと)

毎回の授業資料は、CEAS上に掲載する。

〔参考図書〕

授業中に示すことがある。

⑦〔成績評価の方法・基準〕

提出物：100%（毎回の授業の課題提出、アンケートなど）

〔学生へのメッセージ〕

授業時間中は、質疑応答やグループでの討論を行う。さらに、事後学習のための課題が設定されるので、期日までに提出することが求められる。このような授業形態をとり皆さんが意欲的に取り組むことにより、在学中及び卒業後にも生きる問題解決のための情報活用能力の会得を期待する。

〔教員の実務経験〕

産業機器のソフトウェア・ハードウェアの開発業務の経験を活かし、PC の仕組みや表計算ソフトとプログラミングの関係を学生に教示している。

科目名	②授業形態	配当回生(前・後期)	⑤単位	⑥講師名
情報処理演習Ⅱ (PKN 対象)	講義・演習	1 後	1.0	福森 貢
科目内容				

① [授業の到達目標]

情報処理演習Ⅰと同じ目的のもとで、対象とするデータの数理的分析方法とプログラミングによる効率的な処理方法を会得すること、さらに人工知能(AI)利用による判断特性を理解することを目的とする。

③ [授業科目内容の概要]

情報処理演習Ⅰの復習から始め、専門科目や卒業研究などで必要となるデータを対象として、プログラミングによるデータ処理の効率化と統計値算出や仮説検定の基礎を演習形式で学び理解を深める。

④ [授業計画]

第1回 情報処理演習Ⅰの復習(1)/情報処理演習Ⅰの理解度チェック、知の個人アーカイブ、SNS利用、情報セキュリティ

第2回 情報処理演習Ⅰの復習(2)/ファイルの保存場所・フォルダとファイルの命名規則など

第3回 AIとその「学習」の特徴

第4回 統計の基礎(1)/平均・中央値・正規分布・分散・標準偏差・偏差値

第5回 統計の基礎(2)/データ分析のための Excel 集計機能

第6回 統計の基礎(3)/データ分析のための Excel グラフ機能

第7回 仮説検定・帰無仮説・対立仮説・有意水準・p値・尺度

第8回 t検定(1)～対応あり

第9回 t検定(2)～対応なし、F検定

第10回 カイ2乗検定関連(分割表, Fisher's exact test, McNemar test)

第11回 ノンパラメトリック検定関連(1)(Wilcoxon signed-rank test, Mann-Whitney U test)

第12回 ノンパラメトリック検定関連(2)/その仕組みを理解する

第13回 相関係数(Pearson, Spearman)

第14回 プログラミングの基礎(1)/簡単なプログラムを作成する

第15回 プログラミングの基礎(2)・変数と条件分岐・繰り返し処理

第16回 定期試験

[授業外学修の指示]

上達のコツは、PCを実際に操作して予習・復習をすることです。

[使用教材]

『看護・医療系データ分析のための 基本統計ハンドブック』福森貢、堀内美由紀 ピラールプレス (ISBN:978-4-86194-054-5)

[参考図書]

必要な場合は適宜紹介する。

⑦ [成績評価の方法・基準]

定期試験：80%（授業で学習した範囲を中心として出題する）

提出物：20%（授業の中で指示する提出物の内容および提出状況）

〔学生へのメッセージ〕

統計は難しいという固定観念があるかも知れませんが、できるだけ丁寧に指導するので一緒に頑張りましょう。

P・・・理学療法学科

K・・・看護医療学科

N・・・健康栄養学科

科目名	②授業形態	配当回生(前・後期)	⑤単位	⑥講師名
情報処理演習Ⅱ (DE 対象)	講義・演習	1 後	1.0	冬木 正紀/李 沅貞
科目内容				

① [授業の到達目標]

情報処理演習Ⅰと同じ目的のもとで、対象とするデータの数理的分析方法とプログラミングによる効率的な処理方法を会得すること、さらに AI 利用による判断特性を理解することを目的とする。

③ [授業科目内容の概要]

情報処理演習Ⅰの復習から始め、統計の基礎的な概念を身に付けた上で、Excel を利用したデータ処理の基礎を演習形式で学び理解を深める。

④ [授業計画]

- 第1回 情報処理演習Ⅰの復習 (1) 情報処理演習Ⅰの理解度チェック、知の個人アーカイブ、SNS 利用、情報セキュリティ
- 第2回 情報処理演習Ⅰの復習 (2) ファイルの保存場所・フォルダとファイルの命名規則など
- 第3回 AI とその「学習」の特徴
- 第4回 統計の基礎 (1) 平均値・分散・標準偏差・偏差値
- 第5回 統計の基礎 (2) 分布・類似度
- 第6回 統計の基礎 (3) 相関
- 第7回 統計の基礎 (4) 回帰
- 第8回 統計の基礎 (5) これまでの振り返り
- 第9回 統計ソフトの基礎 (1) Excel の集計機能の復習
- 第10回 統計ソフトの基礎 (2) Excel のグラフ機能の復習
- 第11回 統計ソフトの基礎 (3) Excel の機能の追加説明
- 第12回 統計ソフトの基礎 (4) Excel の振り返り
- 第13回 総合演習 (1) 統計用 AI の作成
- 第14回 総合演習 (2) 統計用 AI の作成
- 第15回 まとめ

[授業外学修の指示]

復習は必須です。

[使用教材]

教科書：日経パソコン Edu 2020 年度版 (日経 BP 社) (情報処理演習Ⅰで使用した教科書です)

[参考図書]

必要な場合は適宜紹介する。

⑦ [成績評価の方法・基準]

1. 最終レポート：85%
2. 提出物：15% (授業の中で指示する提出物の内容および提出状況)

〔学生へのメッセージ〕

演習に参加するためには復習が必須であり、自分で考えたり調べたりすることが必要です。
一緒に頑張りましょう。

D・・・人間環境デザイン学科

E・・・現代教育学科

カリキュラム表

「情報処理演習Ⅰ」「情報処理演習Ⅱ」は、すべての学科において1年次配当の卒業必修科目に位置付けられています（各学科課程表の**マーカー部分**）。

健康科学部

理学療法学科 1回生用(2020年度入学生)

区分	科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	理学療法士 資格必修	開 講 時 期													
					1回生		2回生		3回生		4回生							
					前	後	前	後	前	後	前	後						
教養科目	人間と社会	PES0012	西洋哲学	2 推				2										
		PES0012	東洋思想	2 推					2									
		PES0011	心理学概論	1 選			2											
		PES0012	人間関係論	2 選				2										
		PES0011	法学概論	1 選			2											
		PES0012	日本国憲法	2 選					2									
		PES0011	経済学概論	1 選				2										
		PES0011	人権教育	1 選				2										
	PES0012	国際社会論	2 選					2										
	歴史と文化	HIC0012	歴史学入門	2 選					2									
		HIC0012	科学史	2 選						2								
		HIC0011	文化芸術論	1 選				2										
		HIC0011	日本文芸の世界	1 選			2											
	自然・科学 と人間	NSP0011	生命科学入門	1 選			2											
		NSP0012	生命倫理	2 必	○			2										
		NSP0012	地球環境論	2 選				2										
NSP0011		数理科学入門	1 選				2											
言語と情報	LAI0011	英語コミュニケーションⅠ	1 必	○	2													
	LAI0011	英語コミュニケーションⅡ	1 必	○		2												
	LAI0012	オーラルコミュニケーションⅠ	2 選				2											
	LAI0012	オーラルコミュニケーションⅡ	2 選					2										
	LAI0011	短期語学留学	1 選						①*									
	LAI0011	情報処理演習Ⅰ	1 必	○	1													
	LAI0011	情報処理演習Ⅱ	1 必	○		1												
健康と スポーツ	HES0011	運動の科学	1 選				2											
	HES0011	スポーツ実習Ⅰ	1 選				1											
	HES0011	スポーツ実習Ⅱ	1 選					①										
教養実践 プログラム	PLA0011	ベーシックセミナー	1 必	○	1													
	PLA0011	キャリア入門セミナー	1 必	○	1													
	PLA1114	キャリア形成セミナー	4 必	○												1		
	PLA0011	日本語と表現	1 選			1												
	PLA1112	海外インターンシップ	2 選									①						

教養科目単位数合計 必修：11単位 推奨：4単位 選択：39単位

[表中の記号等について]

開講時期欄の丸数字…集中講義形式で授業実施予定

*の付いた丸数字はクラスによって前期または後期にそれぞれ集中講義形式で授業実施予定

配当年次・必修/選択欄の表記…必は必修科目、選は選択科目、推は推奨科目（選択科目ですが本学が履修を推奨している科目）

〈例〉1必は1回生配当の必修科目であることを表します。

健康科学部
理学療法学科 1 回生用(2020年度入学生)

区分	科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	理学療法士 資格必修	開 講 時 期								
					1回生		2回生		3回生		4回生		
					前	後	前	後	前	後	前	後	
共通科目	FHS0021	健康管理論	1 必	○	2								
	FHS0021	精神保健学	1 選			2							
	FHS0021	障害者心理学	1 選			2							
	FHS0021	高齢者心理学	1 選			2							
	FHS0021	児童心理学	1 選			2							
	FHS0022	自立生活支援論	2 選				2						
	FHS0021	社会福祉論	1 選				2						
人体の構造と機能及び心身の発達	SFH1121	解剖学(骨格・筋・神経)Ⅰ	1 必	○	1								
	SFH1121	解剖学(骨格・筋・神経)Ⅱ	1 必	○	1								
	SFH1121	解剖学(内臓)	1 必	○	1								
	SFH1121	解剖学実習	1 必	○	1								
	SFH1121	分子生物学	1 必	○	1								
	SFH1121	生理学Ⅰ	1 必	○	1								
	SFH1121	生理学Ⅱ	1 必	○	2								
	SFH1121	生理学実習	1 必	○	1								
	SFH1122	運動学A	2 必	○		1							
	SFH1122	運動学B	2 必	○		1							
	SFH1122	運動学実習	2 必	○			1						
	SFH1121	病理学	1 必	○	1								
	SFH1122	臨床心理学	2 必	○			1						
SFH1122	人間発達学	2 必	○			1							
ハビリテーションの理念	保健医療福祉とリハビリテーション	HCW1121	チーム医療論	1 必	○	1							
	HCW1121	チーム医療ふれあい実習	1 必	○	①								
	HCW1122	保健医療福祉概論	2 必	○			1						
	HCW1121	リハビリテーション概論	1 必	○	1								
	HCW1122	科学英語論文講読法	2 必	○			1						
疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	MDD1121	リハビリテーション医学	1 必	○		1							
	MDD1121	内科学	1 必	○	1								
	MDD1123	老年医学	3 必	○				1					
	MDD1122	整形外科Ⅰ	2 必	○		1							
	MDD1122	整形外科Ⅱ	2 必	○			1						
	MDD1122	神経内科学	2 必	○		2							
	MDD1122	小児科学	2 必	○			1						
	MDD1121	一般臨床医学	1 必	○	1								
	MDD1122	精神医学	2 必	○		1							
	MDD1122	医療画像学	2 必	○			1						
	MDD1123	救急医学	3 必	○				1					
	MDD1121	栄養学	1 必	○	1								
	MDD1121	公衆衛生学	1 必	○	1								

専門基礎科目単位数合計 必修：36単位 推奨：0単位 選択：12単位

健康科学部

理学療法学科 1 回生用(2020年度入学生)

区分	科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	理学療法士 資格必修	開 講 時 期									
					1 回 生		2 回 生		3 回 生		4 回 生			
					前	後	前	後	前	後	前	後		
療 法 学	PTF1131	理学療法概論	1 必	○	2									
	PTF1134	理学療法総合演習	4 必	○										2
	PTF1134	卒業研究	4 必	○										②
理 学 療 法 管 理 学	PTM1133	理学療法管理運営学	3 必	○						2				
	PTE1132	理学療法評価学演習	2 必	○			1							
	PTE1132	臨床解剖学演習	2 必	○			1							
	PTE1132	理学療法評価学実習	2 必	○			1							
	PTE1133	理学療法研究法	3 必	○					2					
	PTE1133	理学療法研究法演習	3 必	○								1		
専 門 科 目	理 学 療 法 治 療 学	PHT1132	物理療法学	2 必	○				1					
		PHT1133	物理療法学実習	3 必	○					1				
		PHT1131	運動療法学総論	1 必	○		1							
		PHT1132	運動系理学療法学Ⅰ	2 必	○				1					
		PHT1133	運動系理学療法学Ⅱ	3 必	○					1				
		PHT1133	運動系理学療法学実習	3 必	○							1		
		PHT1133	神経系理学療法学A	3 必	○					1				
		PHT1133	神経系理学療法学B	3 必	○					1				
		PHT1133	神経系理学療法学実習	3 必	○							1		
		PHT1132	循環呼吸系理学療法学A	2 必	○				1					
		PHT1133	循環呼吸系理学療法学B	3 必	○							1		
		PHT1133	循環呼吸系理学療法学実習	3 必	○					1				
		PHT1133	代謝系理学療法学	3 必	○							1		
		PHT1132	発達系理学療法学Ⅰ	2 必	○				1					
		PHT1132	発達系理学療法学Ⅱ	2 必	○					1				
		PHT1133	生活技術学	3 必	○						1			
		PHT1133	生活技術学実習	3 必	○							1		
		PHT1133	義肢装具学	3 必	○						1			
		PHT1133	義肢装具学実習	3 必	○								1	
		PHT1133	理学療法技術実習A	3 必	○								1	
PHT1133	理学療法技術実習B	3 必	○								1			
PHT1133	スポーツ系理学療法学	3 必	○								1			
療 法 学	地 域 理 学 学	CPT1133	生活環境学	3 必	○					1				
		CPT1133	老年系理学療法学	3 必	○					1				
		CPT1133	地域理学療法学	3 必	○							1		
療 法 学	臨 床 実 習	CLP1132	通所・訪問リハビリテーション実習	2 必	○					①				
		PTF1133	臨床理学療法学	3 必	○							1		
		CLP1133	臨床評価実習	3 必	○								③	
		CLP1134	総合臨床実習	4 必	○									⑬

専門科目単位数合計 必修：60単位 推奨：0単位 選択：0単位

※開講時期中の丸数字は、集中講義形式で実施予定

専門準 備科目	REP1101	PTへのベーシックサイエンス	1 選		0									
	REP1101	PTへの物理	1 選		0									

健康科学部
看護医療学科 1 回生用(2020年度入学生)

区分	科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	指定規則対応科目				開 講 時 期										
				看護師 課程		保健師 課程		1 回 生		2 回 生		3 回 生		4 回 生				
				実 習	臨 地	実 習	臨 地	前	後	前	後	前	後	前	後			
人間と社会	PES0012	西洋哲学	2 推	△								2						
	PES0012	東洋思想	2 推	△									2					
	PES0011	心理学概論	1 必	○					2									
	PES0012	人間関係論	2 必	○							2							
	PES0011	法学概論	1 選	△					2									
	PES0012	日本国憲法	2 選	△									2					
	PES0011	経済学概論	1 選	△						2								
	PES0011	人権教育	1 選	△						2								
歴史と文化	HIC0012	歴史学入門	2 選	△									2					
	HIC0012	科学史	2 選	△										2				
	HIC0011	文化芸術論	1 選	△						2								
	HIC0011	日本文芸の世界	1 選	△					2									
自然・科学 と人間	NSP0011	生命科学入門	1 選	△						2								
	NSP0012	生命倫理	2 必	○									2					
	NSP0012	地球環境論	2 選	△									2					
	NSP0011	数理学入門	1 選	△									2					
言語と情報	LAI0011	英語コミュニケーションⅠ	1 必	○						2								
	LAI0011	英語コミュニケーションⅡ	1 必	○							2							
	LAI0012	オーラルコミュニケーションⅠ	2 選	△									2					
	LAI0012	オーラルコミュニケーションⅡ	2 選	△										2				
	LAI0011	短期語学留学	1 選	△							①*							
	LAI0011	情報処理演習Ⅰ	1 必	○						1								
LAI0011	情報処理演習Ⅱ	1 必	△							1								
スポーツ	HES0011	運動の科学	1 必	○							2							
	HES0011	スポーツ実習Ⅰ	1 必	○							1							
	HES0011	スポーツ実習Ⅱ	1 選	△							①							
教養実践プログラム	PLA0011	ベーシックセミナー	1 必	○						1								
	PLA0011	キャリア入門セミナー	1 必	○						1								
	PLA1411	チーム医療発展セミナー	1 必	○							1							
	PLA0011	日本語と表現	1 選	△						1								
	PLA1412	海外インターンシップ	2 選	△										①				
	PLA0014	学校インターンシップ	4 選	△													①	
PLA1412	病院・施設ボランティア活動	2 選	△										①					
教養科目単位数合計 必修：18単位 推奨：4単位 選択：34単位																		
専門基礎科目	共通科目	FHS0021	健康管理論	1 選	△						2							
		FHS0021	精神保健学	1 選	△							2						
		FHS0022	障害者心理学	2 選	△									2				
		FHS0021	高齢者心理学	1 選	△							2						
		FHS0021	児童心理学	1 選	△							2						
		FHS0021	自立生活支援論	1 必	○							2						
FHS0021	社会福祉論	1 必	○							2								

[表中の記号等について]
 開講時期欄の丸数字…集中講義形式で授業実施予定
 *の付いた丸数字はクラスによって前期または後期にそれぞれ集中講義形式で授業実施予定
 配当年次・必修/選択欄の表記…必は必修科目、選は選択科目、推は推奨科目（選択科目ですが本学が履修を推奨している科目）
 〈例〉1 必は1 回生配当の必修科目であることを表します。
 指定規則対応科目欄 ○…資格必修科目 △…資格対応推奨科目

健康科学部
看護医療学科 1回生用(2020年度入学生)

区分	科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	指定規則対応科目				開 講 時 期									
				看護師 課程		保健師 課程		1回生		2回生		3回生		4回生			
				実 習	臨 地	実 習	臨 地	前	後	前	後	前	後	前	後		
専門基礎科目	人体の構造と機能	SFH1421	人体構造・機能学Ⅰ	1 必	○					2							
		SFH1421	人体構造・機能学Ⅱ	1 必	○					2							
		SFH1421	脳科学入門	1 選	△					2							
		SFH1421	生命活動と代謝	1 必	○					1							
		SFH1422	病理学	2 必	○						1						
		SFH1421	人間工学入門	1 選	△					2							
	疾病の成り立ちと回復の促進	DMP1421	感染・免疫学	1 必	○						2						
		DMP1422	病態医学Ⅰ	2 必	○						2						
		DMP1422	病態医学Ⅱ	2 必	○							2					
		DMP1422	薬と健康	2 必	○							2					
		DMP1421	食と栄養	1 選	△						2						
		DMP1422	生活とリハビリテーション	2 選	△							2					
	みと健康	DMP1422	ヒトの遺伝学	2 選	△							2					
		SMP1421	チーム医療論	1 必	○					1							
		SMP1421	生活科学論	1 選	△					2							
		SMP1421	公衆衛生学	1 必	○						2						
SMP1421	人間発達学	1 選	△					2									

専門基礎科目単位数合計 必修：21単位 推奨：0単位 選択：24単位

区分	科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	指定規則対応科目				開 講 時 期										
				看護師 課程		保健師 課程		1回生		2回生		3回生		4回生				
				実 習	臨 地	実 習	臨 地	前	後	前	後	前	後	前	後			
専門科目	専門分野Ⅰ	基礎看護学	FUN1431	看護学原論	1 必	○					2							
			FUN1433	看護倫理	3 必	○								2				
			FUN1431	看護技術基礎論	1 必	○					1							
			FUN1431	療養生活援助技術	1 必	○						2						
			FUN1432	診療過程援助技術	2 必	○							1					
			FUN1431	フィジカルアセスメント	1 必	○						1						
			FUN1432	看護過程基礎論	2 必	○							2					
			FUN1431	チーム医療ふれあい実習	1 必		○					①						
			FUN1431	基礎看護学実習	1 必		○						②					
	専門分野Ⅱ	成人看護学	AND1432	成人看護学対象論	2 必	○						2						
			AND1432	急性期看護学援助論Ⅰ	2 必	○							1					
			AND1433	急性期看護学援助論Ⅱ	3 必	○								1				
			AND1432	慢性期看護学援助論Ⅰ	2 必	○							1					
			AND1433	慢性期看護学援助論Ⅱ	3 必	○								1				
			AND1433	急性期看護学実習	3 必		○										③	
		母子看護学	AND1433	慢性期看護学実習	3 必		○										③	
			MCN1432	小児看護学対象論	2 必	○						2						
			MCN1432	小児看護学援助論Ⅰ	2 必	○								1				
			MCN1433	小児看護学援助論Ⅱ	3 必	○									1			
			MCN1432	母性看護学対象論	2 必	○						2						
			MCN1432	母性看護学援助論Ⅰ	2 必	○								1				
			MCN1433	母性看護学援助論Ⅱ	3 必	○									1			
		老年・精神看護学	MCN1433	母子看護学実習	3 必		○										④	
			GPN1432	老年看護学対象論	2 必	○							2					
GPN1432	老年看護学援助論Ⅰ		2 必	○								1						
GPN1433	老年看護学援助論Ⅱ		3 必	○									1					
GPN1433	老年看護学実習		3 必		○										④			
GPN1432	精神看護学対象論		2 必	○							2							
GPN1432	精神看護学援助論Ⅰ		2 必	○								1						
GPN1433	精神看護学援助論Ⅱ		3 必	○									1					
GPN1433	精神看護学実習	3 必		○										②				

健康科学部

看護医療学科 1 回生用(2020年度入学生)

区分	科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	指定規則対応科目		開 講 時 期									
				看護師 課程	保健師 課程	1 回 生		2 回 生		3 回 生		4 回 生			
						前	後	前	後	前	後	前	後		
専門分野Ⅱ 地域看護学	CHN1432	地域看護学概論	2 必	○					2						
	CHN1432	公衆衛生看護学概論	2 選		○					2					
	CHN1434	保健医療福祉システム論Ⅰ	4 必	○	○									1	
	CHN1434	保健医療福祉システム論Ⅱ	4 選		○										2
	CHN1432	疫学	2 選		○					2					
	CHN1432	保健統計	2 選		○					2					
	CHN1433	公衆衛生看護学方法論Ⅰ	3 選		○						2				
	CHN1434	公衆衛生看護学方法論Ⅱ	4 選		○										2
	CHN1434	公衆衛生看護学方法論Ⅲ	4 選		○										1
	CHN1433	公衆衛生看護学活動論Ⅰ	3 選		○						2				
	CHN1434	公衆衛生看護学活動論Ⅱ	4 選		○										2
	CHN1434	公衆衛生看護学活動論Ⅲ	4 選		○										1
	CHN1432	健康学特論	2 選		○						2				
	CHN1434	公衆衛生看護学管理論	4 選		○										2
	CHN1434	地域看護学実習	4 選												②
CHN1434	公衆衛生看護学実習	4 選			○									③	
専門科目 統合・発展科目	ICS1434	在宅リハビリテーション	4 選	△											2
	ICS1433	終末期ケア論	3 必	○								2			
	ICS1434	国際看護学Ⅰ	4 必	○											1
	ICS1434	国際看護学Ⅱ	4 選												1
	ICS1432	学校保健	2 選							2					
	ICS1432	養護概説	2 選							2					
	ICS1434	健康相談	4 選												2
	ICS1433	医療安全論	3 必	○							2				
	ICS1434	災害看護学Ⅰ	4 必	○											1
	ICS1434	災害看護学Ⅱ	4 選	△											1
	ICS1434	看護管理論	4 必	○											2
	ICS1432	在宅看護学概論	2 必	○							2				
	ICS1433	ケアマネージメント論	3 必	○								2			
	ICS1433	在宅看護学実習	3 必		○										②
	ICS1433	医療コミュニケーション演習	3 必											1	
	ICS1434	事例カンファレンス	4 必												1
	ICS1433	基礎医学総合演習	3 必											1	
	ICS1433	看護研究基礎論	3 必									2			
ICS1432	外書講読	2 選								2					
ICS1434	卒業研究	4 必												②	
ICS1434	離島・へき地医療体験実習	4 必		○										②	
ICS1434	病院インターンシップ	4 選												②	
専門科目単位数合計 必修：78単位 推奨：0単位 選択：41単位															
教育職員免許状に関する科目 (養護)	STC1444	養護実習指導	4 選												1
	STC1444	養護実習	4 選												④
	STC1442	教職概論(中等)	2 選						2						
	STC1442	教育原理(中等)	2 選						2						
	STC1442	教育心理学(中等)	2 選						2						
	STC1442	発達心理学(中等)	2 選							2					
	STC1442	特別支援教育入門A	2 選						1						
	STC1441	教育法制論(中等)	1 選						2						
	STC1443	教育課程論(中等)	3 選									2			
	STC1443	道徳・特別活動論	3 選									2			
	STC1442	教育方法 技藝論(総合的な学習の時間の指導法を含む)(中等)	2 選								2				
	STC1443	生徒指導論	3 選									2			
	STC1442	教育相談(中等)	2 選								2				
STC1444	教職実践演習(養護教諭)	4 選												2	
専門準備科目	REP1401	看護へのベーシックサイエンス	1 選						0						

健康科学部

健康栄養学科 1 回生用(2020年度入学生)

区分	科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	コース推奨			資格必修 栄養士 管理栄養士 受検資格必修	開 講 時 期									
				臨床栄養	食品開発 栄養	スポーツ 栄養		1 回生		2 回生		3 回生		4 回生			
								前	後	前	後	前	後	前	後		
共通科目	FHS0021	精神保健学	1 選						2								
	FHS0021	児童心理学	1 選					2									
	FHS0021	高齢者心理学	1 選					2									
	FHS0021	障害者心理学	1 選						2								
	FHS0022	自立生活支援論	2 選							2							
	FHS0021	社会福祉論	1 選						2								
社会環境と健康	SEH1221	健康管理論	1 必				○	○	2								
	SEH1222	公衆衛生学	2 必				○	○		2							
	SEH1223	保健医療福祉概論	3 必				○	○					2				
	SEH1222	スポーツ心理学	2 選			○				2							
専門基礎科目	SFH1221	解剖生理学Ⅰ	1 必				○	○	2								
	SFH1221	解剖生理学Ⅱ	1 選					○		2							
	SFH1222	解剖生理学実験	2 必				○	○				1					
	SFH1221	生化学Ⅰ	1 必				○	○	2								
	SFH1221	生化学Ⅱ	1 選				○	○		2							
	SFH1222	生化学実験	2 必				○	○				1					
	SFH1222	臨床医学Ⅰ	2 必				○	○			2						
	SFH1222	臨床医学Ⅱ	2 選					○				2					
	SFH1223	運動生理学	3 必				○	○					2				
	SFH1223	運動生理学実験	3 必				○	○						1			
	SFH1223	薬理学	3 選		○										2		
	SFH1222	味覚生理学演習	2 選			○						2					
食べ物と健康	FOH1221	基礎化学実験	1 必					○	1								
	FOH1221	食品学総論	1 必				○	○		2							
	FOH1222	食品学各論	2 必				○	○			2						
	FOH1222	食品学実験	2 必				○	○				1					
	FOH1221	食品衛生学	1 必				○	○		2							
	FOH1221	食品衛生学実験Ⅰ	1 必				○	○			1						
	FOH1222	食品衛生学実験Ⅱ	2 選					○				1					
	FOH1221	調理学	1 必				○	○	2								
	FOH1222	調理科学実験	2 必				○	○				1					
	FOH1221	調理学実習Ⅰ	1 必				○	○		1							
	FOH1221	調理学実習Ⅱ	1 必				○	○			1						
	FOH1221	食文化論	1 選								2						
	FOH1223	フードコーディネータ論	3 選											2			
	FOH1223	食品加工学	3 選		○								2				
	FOH1223	食品加工学実習	3 選		○										1		
FOH1224	食品開発学演習	4 選		○												2	

専門基礎科目単位数合計 必修：31単位 推奨：0単位 選択：34単位

健康科学部
健康栄養学科 1 回生用(2020年度入学生)

区分	科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	コース推奨			管理栄養士 受験資格必修 栄養士 資格必修	開 講 時 期									
				臨床栄養	食品開発 栄養	スポーツ 栄養		1 回生		2 回生		3 回生		4 回生			
								前	後	前	後	前	後	前	後		
専 門 科 目	総合演習	COS1233	総合演習 I	3 必				○						2			
		COS1234	総合演習 II	4 選				○									2
		COS1234	特別演習 I	4 選												2	
		COS1234	特別演習 II	4 選													2
	臨地実習	OST1233	臨地実習 I (給食の運営)	3 必				○	○					①			
		OST1233	臨地実習 II (給食経営管理)	3 選				★						①			
		OST1234	臨地実習 III (臨床栄養)	4 選					○								②
		OST1234	臨地実習 IV (臨床栄養)	4 選				★									①
		OST1234	臨地実習 V (公衆栄養)	4 選				★									①
		GRP1234	卒業研究	4 選													②
	専門科目単位数合計 必修：28単位 推奨：0単位 選択：42単位																
	教 育 職 員 免 許 状 に 関 す る 科 目 (<small>栄養</small>)	STC1243	栄養教諭論	3 選											2		
		STC1243	食に関する指導論	3 選												2	
STC1244		栄養教育実習	4 選													2	
STC1242		教職概論(中等)	2 選							2							
STC1242		教育原理 (中等)	2 選						2								
STC1242		教育心理学 (中等)	2 選						2								
STC1242		発達心理学 (中等)	2 選							2							
STC1242		特別支援教育入門 A	2 選							1							
STC1241		教育法制論 (中等)	1 選							2							
STC1243		教育課程論 (中等)	3 選											2			
STC1243		道徳・特別活動論	3 選											2			
STC1242		教育方法・技術論 (総合的な学習の時間の指導法を含む) (中等)	2 選										2				
STC1243		生徒指導論	3 選											2			
STC1242		教育相談 (中等)	2 選										2				
STC1244	教職実践演習 (栄養教諭)	4 選														2	
★いずれか1科目選択必修																	
専門準備科目	REP1201	管理栄養士へのベーシックサイエンス	1 選						0								

健康科学部

人間環境デザイン学科 1 回生用(2020年度入学生)

区分	科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	コースカリキュラム			開 講 時 期											
				ち づ く り	建 築 ま ま	イ ン テ リ ア デ ザ イ ン	1 回生		2 回生		3 回生		4 回生					
							前	後	前	後	前	後	前	後				
専門基礎科目	共通科目	FHS0021	健康管理論	1 選				2										
		FHS0021	精神保健学	1 選					2									
		FHS0021	児童心理学	1 選				2										
		FHS0021	高齢者心理学	1 選				2										
		FHS0021	障害者心理学	1 選				2										
		FHS0022	自立生活支援論	2 選					2									
		FHS0021	社会福祉論	1 選				2										
	社会・環境	SOE1321	ユニバーサルデザイン	1 必	●	●	●	2										
		SOE1321	色彩論 I	1 選	○	○	○	2										
		SOE1322	色彩論 II	2 選	○	○	○		2									
	身体機能	FHB1321	リハビリテーション入門	1 選				2										
		FHB1321	日常生活活動学入門	1 必	●	●	●	2										
		FHB1323	人体感覚計測実験	3 選												②		
	知覚と認識	PEC1323	環境心理学	3 選	○	○	○						2					
		PEC1323	認知心理学	3 選											2			
		PEC1322	色彩心理学	2 選		○	○				2							
	表現の技術	TEE1321	デッサン I	1 必	●	●	●	2										
		TEE1321	デッサン II	1 選	○	○	○		2									
		TEE1321	立体表現 I	1 選	○	○	○	2										
		TEE1321	立体表現 II	1 選		○			2									
TEE1322		コンピュータグラフィック	2 選	○	○	○				2								
専門基礎科目単位数合計 必修：6単位 推奨：0単位 選択：36単位																		
専門分野 I	SS I 1332	建築設計演習 I	2 選	○	○			2										
	SS I 1332	建築設計演習 II	2 選	○	○				2									
	SS I 1333	建築設計演習 III	3 選	○							2							
	SS I 1333	建築設計演習 IV	3 選	○								2						
	SS I 1332	建築 CAD I	2 選	○	○				2									
	SS I 1333	建築 CAD II	3 選	○	○						2							
	SS I 1332	インテリアデザイン演習 A	2 選		○			2										
	SS I 1332	インテリアデザイン演習 B	2 選		○				2									
	SS I 1333	インテリアデザイン演習 C	3 選		○						2							
	SS I 1333	インテリアコーディネート演習	3 選		○							2						
	SS I 1332	アバレル構成実習 I	2 選			○			2									
	SS I 1332	アバレル構成実習 II	2 選			○				2								
	SS I 1333	アバレル構成実習 III	3 選			○						2						
	SS I 1333	アバレル構成実習 IV	3 選			○							2					
	SS I 1333	アバレルデザイン演習	3 選			○							2					
	SS I 1332	テキスタイル実習 I	2 選			○			2									
	SS I 1333	テキスタイル実習 II	3 選			○							2					
	SS I 1333	テキスタイル実習 III	3 選			○								2				
	SS I 1333	プロダクトデザイン	3 選			○								2				

健康科学部

人間環境デザイン学科 1回生用(2020年度入学生)

区分	科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	コースカリキュラム			開 講 時 期								
				ち づ く り	建 築 ・ ま ち づ く り デ ザ イ ン	ア パ レ ル ・ 造 形 デ ザ イ ン	1回生		2回生		3回生		4回生		
							前	後	前	後	前	後	前	後	
専門 分野 II	SSII1331	建築学概論	1 選	○			2								
	SSII1331	住環境計画 I	1 選	○	○			2							
	SSII1332	住環境計画 II	2 選	○	○				2						
	SSII1332	住生活史	2 選	○	○	○			2						
	SSII1332	日本建築史	2 選	○	○				2						
	SSII1332	西洋・東洋建築史	2 選	○	○					2					
	SSII1333	建築環境工学	3 選	○	○						2				
	SSII1333	建築設備学演習	3 選	○	○							2			
SSII1333	服飾史	3 選			○						2				
専門 分野 III	SSIII1331	構造力学 I	1 選	○				2							
	SSIII1332	構造力学 II	2 選	○					2						
	SSIII1332	建築一般構造 I	2 選	○	○					2					
	SSIII1333	建築一般構造 II	3 選	○	○						2				
	SSIII1332	建築材料学	2 選	○	○				2						
	SSIII1333	建築材料実験	3 選	○							2	(2)			
	SSIII1333	建築施工	3 選	○	○							2			
	SSIII1333	建築法規	3 選	○	○							2			
	SSIII1331	アパレル整理学	1 選			○		2							
	SSIII1332	アパレル材料学	2 選			○			2						
SSIII1332	アパレル材料学実験	2 選			○					2					
専門 科目	SSIV1331	景観・まちづくり演習	1 必	●	●	●		2							
	SSIV1331	建築図学	1 選	○	○			2							
	SSIV1333	測量実習	3 選	○								2			
	SSIV1333	ランドスケープ演習	3 選	○								2			
	SSIV1331	人間工学	1 必	●	●	●		2							
	SSIV1332	人間工学実験	2 選	○	○	○			2						
	SSIV1333	生活環境素材論	3 選	○	○	○						2			
	SSIV1333	福祉のまちづくり(地域計画論)	3 選	○	○							2			
	SSIV1331	インテリアデザイン	1 選		○	○		2							
	SSIV1332	インテリア設計総合演習	2 選		○				2						
	SSIV1332	インテリア商品と販売知識	2 選		○	○				2					
	SSIV1332	インテリア計画と技術	2 選		○					2					
	SSIV1331	住生活論	1 選	○	○	○	2								
	SSIV1331	衣生活論	1 選			○	2								
	SSIV1331	アパレル構成論	1 選			○		2							
	SSIV1333	ファッションビジネス論	3 選			○						2			
	SSIV1333	福祉機器論	3 選		○								2		
	SSIV1334	ユニバーサルデザイン(環境)	4 選*	○	○									2	
	SSIV1334	ユニバーサルデザイン(ファッション)	4 選*			○									2
	SSIV1333	家庭経営学	3 選									2			
	SSIV1333	家庭電気・機械	3 選										2		
	SSIV1332	健康と食生活	2 選						2						
	SSIV1333	調理実習	3 選									2			
SSIV1332	保育学	2 選								2					
SSIV1333	消費科学	3 選		○	○								2		
シ ェ ク ミ セ ト	PRS1332	プロジェクトゼミA	2 必	●	●	●				2					
	PRS1333	プロジェクトゼミB	3 選	○	○	○							2		
	GRP1334	卒業研究	4 必	●	●	●									④

専門科目単位数合計 必修：10単位 推奨：0単位 選択：125単位

※の2科目よりいずれか1科目選択必修

健康科学部

人間環境デザイン学科 1 回生用(2020年度入学生)

区分	科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	コースカリキュラム				開 講 時 期										
				ち づ く り	建 築 、 ま	イ ン テ リ ア デ ザ イ ン	ア パ レ ル 造 形	1 回生		2 回生		3 回生		4 回生				
								前	後	前	後	前	後	前	後			
教育職員免許状に関する科目(家庭)	STC1343	家庭科指導法Ⅰ	3 選									2						
	STC1343	家庭科指導法Ⅱ	3 選									2						
	STC1343	家庭科指導法Ⅲ	3 選									2						
	STC1343	家庭科指導法Ⅳ	3 選									2						
	STC1344	家庭科教育実習指導	4 選													1		
	STC1344	家庭科教育実習(中)	4 選													④		
	STC1344	家庭科教育実習(高)	4 選													②		
	STC1342	教職概論(中等)	2 選						2									
	STC1342	教育原理(中等)	2 選						2									
	STC1342	教育心理学(中等)	2 選						2									
	STC1342	発達心理学(中等)	2 選							2								
	STC1342	特別支援教育入門A	2 選							1								
	STC1341	教育法制論(中等)	1 選						2									
	STC1343	教育課程論(中等)	3 選									2						
	STC1343	道徳指導法(中等)	3 選										2					
	STC1343	特別活動指導法(中等)	3 選											2				
	STC1342	教育方法・技術論(総合的な学習の時間の指導法を含む)(中等)	2 選								2							
	STC1343	生徒・進路指導論(中等)	3 選											2				
STC1342	教育相談(中等)	2 選								2								
STC1344	教職実践演習(中・高)	4 選															2	
専門準備科目	REP1301	建築へのベーシックサイエンス	1 選					0										

教育学部
現代教育学科 1 回生用(2020年度入学生)

区分	科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	コース対応							資格要件に関する科目					開講時期				
				学校 教育	幼児 教育	保健 教育	英語 教育	教員免許状				認定 心理士	1回生	2回生	3回生	4回生				
								小学校	幼稚園	養護	中高英語						特別 支援	保育士	前	後
人間と社会	PES0012	西洋哲学	2 推	○	○	○	○													
	PES0012	東洋思想	2 推	○	○	○	○													
	PES0011	心理学概論	1 選	○	○	○	○					○	○	2						
	PES0013	人間関係論	3 選	○	○	○	○					○	○							
	PES0011	法学概論	1 選	○	○	○	○							2						
	PES0012	日本国憲法	2 選	○	○	○	○	○	○	○	○									
	PES0011	経済学概論	1 選	○	○	○	○							2						
	PES0011	人権教育	1 選	○	○	○	○					○		2						
PES0012	国際社会論	2 選	○	○	○	○														
歴史と文化	HIC0012	歴史学入門	2 選	○	○	○	○													
	HIC0012	科学史	2 選	○	○	○	○													
	HIC0011	文化芸術論	1 選	○	○	○	○							2						
	HIC0011	日本文芸の世界	1 選	○	○	○	○							2						
自然・科学 と人間	NSP0011	生命科学入門	1 選	○	○	○	○							2						
	NSP0013	生命倫理	3 必	●	●	●	●													2
	NSP0012	地球環境論	2 選	○	○	○	○													2
	NSP0011	数理学入門	1 選	○	○	○	○													2
言語と情報	LAIO011	英語コミュニケーションA	1 必	●	●	●	●	○	○	○	○			○	2					
	LAIO011	英語コミュニケーションB	1 必	●	●	●	●							○	2					
	LAIO012	オーラルコミュニケーションA	2 選	○	○	○	○					○								2
	LAIO012	オーラルコミュニケーションB	2 選	○	○	○	○					○								2
	LAIO011	短期語学留学	1 選	○	○	○	○													①*
	LAIO011	情報処理演習Ⅰ	1 必	●	●	●	●	○	○	○	○			○	1					
	LAIO011	情報処理演習Ⅱ	1 必	●	●	●	●	○	○	○	○			○	1					
	スポーツ と健康	HES0011	運動の科学	1 選	○	○	○	○	○	○	○	○			○	2				
HES0011		スポーツ実習A	1 選	○	○	○	○	○	○	○	○			○	1					
HES0011		スポーツ実習B	1 選	○	○	○	○	○	○	○	○									①
教養実践プログラム	PLA2111	ベーシックセミナー	1 必	●	●	●	●													1
	PLA0011	キャリア入門セミナー	1 必	●	●	●	●													1
	PLA2111	キャリア形成セミナー	1 必	●	●	●	●													1
	PLA0011	日本語と表現	1 選	○	○	○	○													1
	PLA0012	企業インターンシップA	2 選	○	○	○	○													①
	PLA0013	企業インターンシップB	3 選	○	○	○	○													①
	PLA0012	海外インターンシップ	2 選	○	○	○	○													①
	PLA2112	学校インターンシップ	2 選	○	○	○	○													①*

教養科目単位数合計 必修：11単位 推奨：4単位 選択：42単位

【表中の記号等について】

◆…今年度非開講

※開講時期欄の丸数字…集中講義形式で実施予定。*の付いた丸数字はクラスによって前期または後期にそれぞれ集中講義形式で授業実施予定

※配当年次・必修/選択欄の表記…必は必修科目、選は選択科目、推は推奨科目（選択科目ですが本学が履修を推奨している科目）
〈例〉1 必は1回生配当の必修科目であることを表します。

※コース対応科目欄…●は卒業必修及びコース必修科目

○はコース推奨科目

○はそのコースに対応した科目。○のついていない科目を受講することは可能で卒業単位に含まれますが時間割上必ず受講できるとは限りません。

※※1～※4は(初等)(中等)のいずれか選択必修。ただし、小学校教員免許希望者は(初等)、中高または養護教員免許希望者は(中等)の履修が必要です。また、小学校と中高の両方を志望する者は、(初等)(中等)ともに履修が必要です。

※資格要件に関する科目欄の○はその資格要件に含まれている科目。必修・選択の別については後掲の資格課程表で確認してください。

※学校教育コースで高校英語教員免許を希望し、小学校教員免許を希望しない場合は、「教育方法・技術論」「教育課程論」はいずれも(中等)の修得が必要です。

教育学部

現代教育学科 1 回生用(2020年度入学生)

区分	科目分類番号	授業科目の名称	配当年次 必修/選択	コース対応							資格要件に関する科目					開講時期				
				学校教育	幼児教育	保健教育	英語教育	教員免許状			保育士	認定心理士	1回生		2回生		3回生		4回生	
								小学校	幼稚園	養護			中 高 英語	特別 支援	前	後	前	後	前	後
	FSH2131	微生物学	1 選		○					○					2					
	FSH2132	薬理概論	2 選		○					○					2					
	FSH2131	学校看護 I	1 選		○					○					2					
	MSH2132	学校看護 II	2 選		○					○					2					
	CSH2132	学校看護 III	2 選		○					○					2					
	TPF2132	養護臨床実習	2 選		○					○						②				
	FSH2132	救急医学	2 選		○					○					2					
	FSN2132	特別支援教育論	2 選	○	○	○					○				2					
	FSN2132	知的障害者の心理	2 選	○	○	○					○				2					
	FSN2132	知的障害者の生理・病理	2 選	○	○	○					○				2					
	FSN2132	肢体不自由者の心理・生理・病理	2 選	○	○	○					○				2					
	FSN2132	病弱者の心理・生理・病理	2 選	○	○	○					○				2					
	FSN2132	知的障害者教育論 I	2 選	○	○	○					○				2					
	FSN2132	知的障害者教育論 II	2 選	○	○	○					○				2					
	FSN2132	肢体不自由教育論	2 選	○	○	○					○				2					
	FSN2132	病弱者教育論	2 選	○	○	○					○				2					
	FSN2133	視覚障害者教育総論	3 選	○	○	○					○					2				
	FSN2133	聴覚障害者教育総論	3 選	○	○	○					○					2				
	FSN2133	重複障害等教育総論	3 選	○	○	○					○						2			
	FSN2133	LD等教育総論	3 選	○	○	○					○						2			
	FSN2133	発達障害教育特論	3 選	○	○	○					○						2			
専 門 科 目	SEE2132	Global Communication for Education	2 選			○									2					
	SEE2131	Practical English A	1 選			○									2					
	SEE2131	Practical English B	1 選			○									2					
	SEE2133	Advanced English for Teachers A	3 選			○										2				
	SEE2133	Advanced English for Teachers B	3 選			○										2				
	MSS2132	国語科指導法	2 選	○	○	○	○	○								2				
	MSS2133	社会科指導法	3 選	○	○	○	○	○									2			
	MSS2132	算数科指導法	2 選	○	○	○	○	○								2				
	MSS2133	理科指導法	3 選	○	○	○	○	○									2			
	MSS2132	生活科指導法	2 選	○	○	○	○	○								2				
	MSS2133	音楽科指導法	3 選	○	○	○	○	○									2			
	MSS2133	図工科指導法	3 選	○	○	○	○	○									2			
	MSS2132	家庭科指導法	2 選	○	○	○	○	○								2				
	MSS2132	体育科指導法	2 選	○	○	○	○	○							2					
	MEA2133	小学校英語指導法	3 選	○				○									2			
	MSS2133	英語科指導法 I	3 選	○	○	○	○					○					2			
	MSS2133	英語科指導法 II	3 選	○	○	○	○					○						2		
	MSS2134	英語科指導法 III	4 選	○	○	○	○					○							2	
	MSS2134	英語科指導法 IV	4 選	○	○	○	○					○								2
	TPF2133	小学校教育実習指導 A	3 選	○	○	○	○	○									1			
TPF2134	小学校教育実習指導 B	4 選	○	○	○	○	○											1		
TPF2133	小学校教育実習 A	3 選	○	○	○	○	○									④				
TPF2134	小学校教育実習 B	4 選	○	○	○	○	○											②		
TPF2131	小学校一日見学	1 選	○	○	○	○	○			○				0						
TPF2133	幼稚園教育実習指導 A	3 選	○	○						○						1				
TPF2134	幼稚園教育実習指導 B	4 選	○	○						○								1		
TPF2133	幼稚園教育実習 A	3 選	○	○						○						④				
TPF2134	幼稚園教育実習 B	4 選	○	○						○								②		

畿央大学教育推進室規程

(目的)

第1条 この規程は、畿央大学（以下「本学」という。）に設置する本学教育推進室（以下「教育推進室」という。）に関し、必要な事項を定める。

(教育推進室の目的)

第2条 教育推進室は、本学学長（以下「学長」という。）の統括の下に、建学の精神に則り、大学および大学院の教育課程編成方針の検討、入学前から卒業または修了後に亘る全教育過程を通じた組織的かつ継続的な教育内容および教育方法の改善を行ない、本学の教育の発展に寄与することを目的とする。

(業務)

第3条 教育推進室は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる業務を行なう。

- (1) 教養教育、初年次教育、キャリア教育、語学教育等全学共通教育と専門教育の教育課程編成と推進
- (2) 共通教育と専門教育の連携の推進
- (3) 大学院教育の教育課程編成と推進
- (4) 教育内容・方法改善の支援および推進
- (5) 教育効果の評価方法の開発および実施
- (6) 教員の教育力向上の支援および推進
- (7) 教育環境向上のための調査・研究および立案
- (8) 大学教育に関する学内外の情報収集および発信
- (9) その他教育推進室の目的達成に必要な業務

(組織)

第4条 教育推進室は、本学専任教職員のうち、次の各号に掲げる室員をもって組織する。

- (1) 学長
 - (2) 副学長
 - (3) 各研究科長
 - (4) 各学部長
 - (5) 各学科長
 - (6) 大学事務局長
 - (7) 教育推進部長
 - (8) 専任教員の中から学長の指名する者 若干名
 - (9) 事務職員の中から大学事務局長の指名する者 若干名
- 2 教育推進室長（以下「室長」という。）は、教育推進室を代表し、学長がこれにあたる。
- 3 学長は必要に応じて、室長補佐を任命することができ、室長補佐は、室長の業務を補佐する。
- 4 本条第1項第8号および第9号の室員は、学長がこれを任命する。

(任期)

第5条 第4条第4項の規定により任命された室員の任期は当該年度末までとし、再任を妨げない。

(会議)

- 第6条 室長は教育推進室会議（以下「会議」という。）を招集し、議長となる。ただし、室長の指名した者が議長を代行することができる。
- 2 会議は、室員総数の過半数の出席により成立する。
 - 3 議決を要する事項については、出席室員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
 - 4 室長は、必要と認めるときは、室員以外の者を会議に陪席させることができる。

(教学 IR 担当部会)

第7条 教育推進室の下に、本学の教育および学生支援に関する諸データの統合的分析と情報提供・助言等を行なうことを目的とした教学 IR 担当部会を置く。

2 教学 IR 担当部会に関する事項は、室長が定める。

(専門部会)

第8条 室長は、専門的事項を調査検討および企画立案するため、必要に応じて教育推進室の下に専門部会を設置することができる。

2 専門部会に関する事項は、室長が定める。

(事務)

第9条 教育推進室の事務は、本学教育推進部が行なう。

(改廃)

第10条 この規程の改廃は、本学教授会および大学院委員会の議を経て学長が行なう。

附 則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年12月24日から施行する。

この規程の施行により、平成24年4月1日に制定した附則の施行日以外を削除する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

畿央大学教育推進室規程

(目的)

第1条 この規程は、畿央大学（以下「本学」という。）に設置する本学教育推進室（以下「教育推進室」という。）に関し、必要な事項を定める。

(教育推進室の目的)

第2条 教育推進室は、本学学長（以下「学長」という。）の統括の下に、建学の精神に則り、大学および大学院の教育課程編成方針の検討、入学前から卒業または修了後に亘る全教育過程を通じた組織的かつ継続的な教育内容および教育方法の改善を行ない、本学の教育の発展に寄与することを目的とする。

(業務)

第3条 教育推進室は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる業務を行なう。

- (1) 教養教育、初年次教育、キャリア教育、語学教育等全学共通教育と専門教育の教育課程編成と推進
- (2) 共通教育と専門教育の連携の推進
- (3) 大学院教育の教育課程編成と推進
- (4) 教育内容・方法改善の支援および推進
- (5) 教育効果の評価方法の開発および実施
- (6) 教員の教育力向上の支援および推進
- (7) 教育環境向上のための調査・研究および立案
- (8) 大学教育に関する学内外の情報収集および発信
- (9) その他教育推進室の目的達成に必要な業務

(組織)

第4条 教育推進室は、本学専任教職員のうち、次の各号に掲げる室員をもって組織する。

- (1) 学長
 - (2) 副学長
 - (3) 各研究科長
 - (4) 各学部長
 - (5) 各学科長
 - (6) 大学事務局長
 - (7) 教育推進部長
 - (8) 専任教員の中から学長の指名する者 若干名
 - (9) 事務職員の中から大学事務局長の指名する者 若干名
- 2 教育推進室長（以下「室長」という。）は、教育推進室を代表し、学長がこれにあたる。
- 3 学長は必要に応じて、室長補佐を任命することができ、室長補佐は、室長の業務を補佐する。
- 4 本条第1項第8号および第9号の室員は、学長がこれを任命する。

(任期)

第5条 第4条第4項の規定により任命された室員の任期は当該年度末までとし、再任を妨げない。

(会議)

- 第6条 室長は教育推進室会議（以下「会議」という。）を招集し、議長となる。ただし、室長の指名した者が議長を代行することができる。
- 2 会議は、室員総数の過半数の出席により成立する。
 - 3 議決を要する事項については、出席室員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
 - 4 室長は、必要と認めるときは、室員以外の者を会議に陪席させることができる。

(教学 IR 担当部会)

第7条 教育推進室の下に、本学の教育および学生支援に関する諸データの統合的分析と情報提供・助言等を行なうことを目的とした教学 IR 担当部会を置く。

2 教学 IR 担当部会に関する事項は、室長が定める。

(専門部会)

第8条 室長は、専門的事項を調査検討および企画立案するため、必要に応じて教育推進室の下に専門部会を設置することができる。

2 専門部会に関する事項は、室長が定める。

(事務)

第9条 教育推進室の事務は、本学教育推進部が行なう。

(改廃)

第10条 この規程の改廃は、本学教授会および大学院委員会の議を経て学長が行なう。

附 則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年12月24日から施行する。

この規程の施行により、平成24年4月1日に制定した附則の施行日以外を削除する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

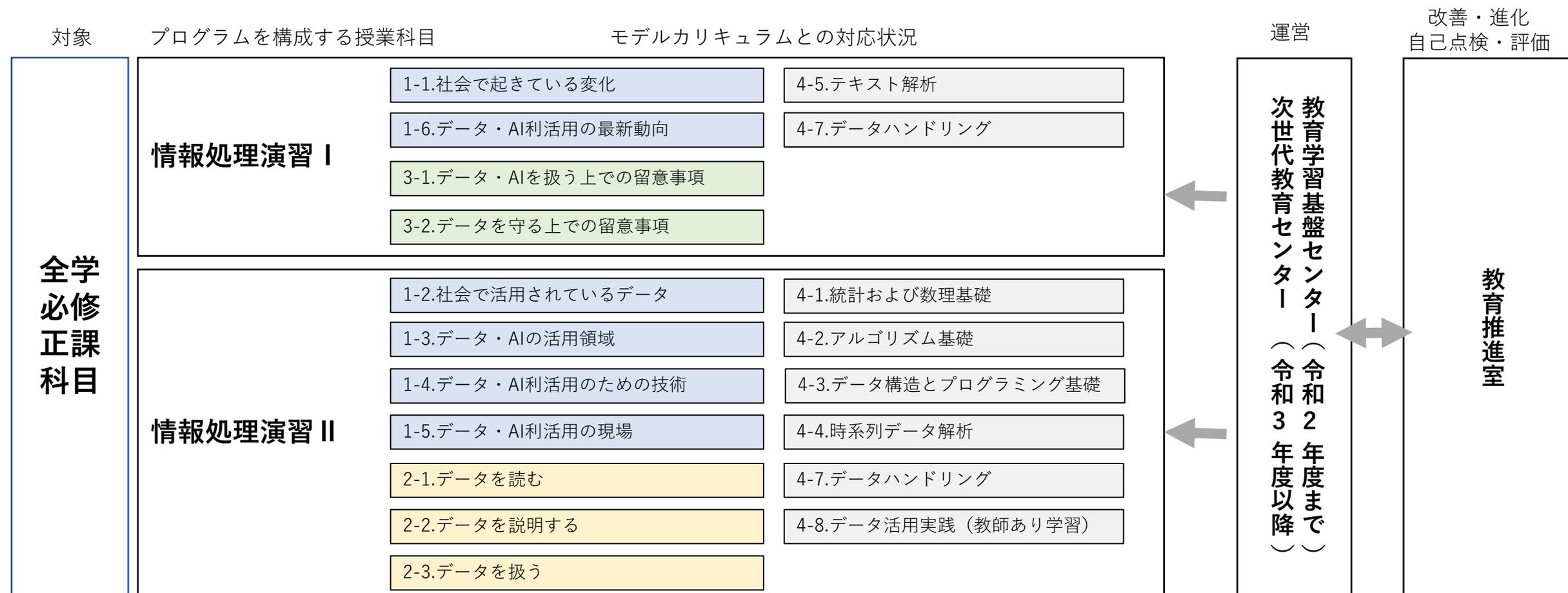
取組概要

本プログラムは全学部全学科必修の正課科目「情報処理演習Ⅰ」「情報処理演習Ⅱ」により構成される。

情報処理演習Ⅰ・Ⅱではモデルカリキュラムの「導入」「基礎」「心得」に相当する内容を全15回の授業で実施する。

本プログラムについては、令和2年度まで「教育学習基盤センター」が、令和3年度からは新設する「次世代教育センター」が運営にあたる。また、本プログラムの改善・進化および自己点検・評価については、本学の教育課程編成方針の検討、入学前から卒業または修了後に亘る全教育過程を通じた組織的かつ継続的な教育内容および教育方法の改善を担う「教育推進室」が実施する。

令和2年度実績は2学部5学科で544名が履修し、509名が修了した。

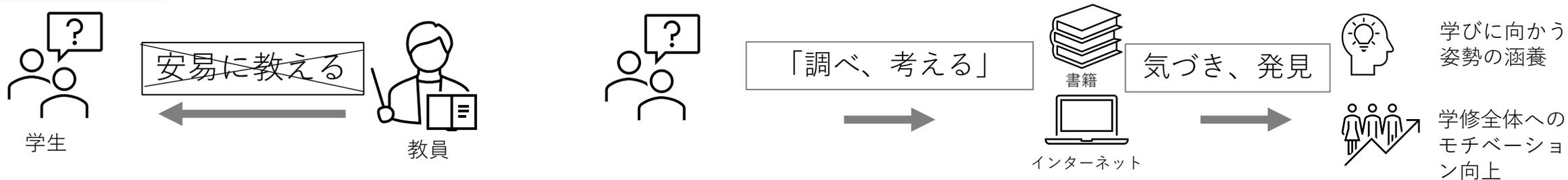


その他補足資料①

情報処理演習の基本的スタンス：自ら「調べ、考える」

本学では、本学では開学当初から「情報処理演習Ⅰ」「情報処理演習Ⅱ」各2単位を卒業必修科目とし、入学後の学修の基礎・基盤を作ってきた。

受講に際して、学生には自ら「調べ、考える」ことを課している。担当教員は安易に全てを教えず、学生自らが「調べ、考える」ためのサポートを行うことを基本的なスタンスとしている。学びに向かう姿勢そのものも涵養する狙いがあり、早期にそれを身に着けることが専門分野での学びも含めた学修全体へのモチベーション維持・向上につながると考える。



疑問や分からないことに対しては、すぐに教えるのではなく、まずは自ら「調べ、考える」ことを指導する。

⇒ 学びに向かう姿勢の涵養、学修全体へのモチベーション向上

情報処理演習の工夫：身近な事例、進路に直結する事例

授業では、できるだけ身近な事例、あるいは学生の進路に直結する事例を取り上げるよう配慮している。

⇒ 学生は専門分野の学びへ入った後も本科目で習得したスキルを生かすことにつながる。



例) 教育学部の学生：「TREND」や「相関」は子どもが抱える問題や環境要因を知る方法これからの教育者に求められる「新たな専門性」と感じた。

その他補足資料②

学習の支援と情報環境の整備

本学では、2011年度から2014年度までの過去4年間の情報環境整備の基本計画を定めた「第1期情報環境基本計画」と2015年度から2018年度までの「第2期情報環境基本計画」に沿って情報環境の整備を計画的に進めてきた。また、2014年度から全学生にノートPCを貸与し、ICTを活用した学習を展開している。とりわけ、全学生へのノートPC貸与、Office (Microsoft) 365の全学導入、LMS「OpenCEAS」の導入により情報インフラに基づく学びのDXが加速している。



学習の支援体制と今後の展開

学生には、情報機器及び情報環境の活用を情報処理演習で教授するとともに、日常的なサポートは「教育学習基盤センター」で対応している。教育学習基盤センターにおいても、自ら「考え、調べる」ことを基本的スタンスとして対応している。

令和3年度からは、**次世代教育センター**を設置し、**本プログラムである情報処理演習を組み込んだ、次世代型教養プログラム**を展開する。

グローバル化やデジタルトランスフォーメーションの推進により、社会がめまぐるしく、かつ、大きく変化する中、哲学的考察により、求められる知識の「背景にあるもの」に目を向け、「なぜ、その知識が必要なのか」「どのようにその知識が活かされるのか」といった深い思索までたどり着くことを可能にする体系化された学びを提供する。